2024 年度
龍谷大学
入学試験要項　別冊

（受験上の配慮について）

龍谷大学
入試部

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
TEL　(075)645-7887
FAX (075)645-4155

目　　次

受験上の配慮を希望する志願者の出願等の流れ---------- 1
1　龍谷大学入学試験における受験上の配慮---------- 2
2　申請に必要な書類---------- 8
3　「受験上の配慮申請書」記入上の注意---------- 9
4　受験上の配慮の決定通知----------10
〔参　考〕----------11

◇提出書類関係

【龍谷大学入試情報サイト内「受験上の配慮について」】より PDF をダウンロードしてください。

※ダウンロード方法は P. 1 の「2. 申請に必要な書類の提出」をご参照ください。

（1）「受験上の配慮申請書」----------15・16
（2）「状況報告・意見書」（肢体不自由関係）----------17
（3）「状況報告・意見書」（発達障がい関係）----------18
（4）「状況報告・意見書」（個室の設定）----------20

受験上の配慮を希望する志願者の出願等の流れ

１．受験上の配慮についての電話連絡・・・各試験日の２ケ月前まで。

事前に必要とする配慮内容等の概要を確認し、申請や当日準備を円滑にさせて頂くため、必ずお電話での事前連絡をお願いいたします。

＜照会先＞　**龍谷大学入試部　受験上の配慮担当宛**
075-645-7887（平日 9:00～17:00《祝日を除く》）
電話での問い合わせが難しい障がいのある方は、以下のお問い合わせフォームよりご連絡ください。
https://www.ryukoku.ac.jp/admission/form/

※以下のものは、試験当日の持ち込み及び試験中の使用が可能であり、受験上の配慮の申請は不要です。持参使用する場合は試験当日に監督者に申し出てください。

座布団、ひざ掛け、ティッシュペーパー（袋から取り出した中身のみ）、ハンカチ、目薬、補聴器（FM 式を除く）、杖（松葉杖など）

これ以外のものの持参使用や、試験場での配慮対応を希望される場合は、受験上の配慮の申請をおこない、本学（京都）会場にて受験していただく必要があります。

２．申請に必要な書類の提出・・・「２．申請に必要な書類（P8）」を参照。

「受験上の配慮申請書」は、龍谷大学入試情報サイト内「受験上の配慮について」よりダウンロードしてください。

【龍谷大学入試情報サイト「受験上の配慮について」】
〈URL〉https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/hairyo/

＜提出先＞　**龍谷大学入試部　受験上の配慮係宛（郵送又は持参）**
〒612-8577　京都市伏見区深草塚本町 67

入試種別	提出締切日（必着）
公募推薦入試〔2 教科型・専門高校等対象・小論文型〕	2023 年 10 月 25 日（水）
一般選抜〔前期日程〕・共通テスト利用入試〔前期日程〕	2023 年 12 月 15 日（金）
一般選抜〔中期日程〕・共通テスト利用入試〔中期日程〕	2024 年 1 月　9 日（火）
一般選抜〔後期日程〕・共通テスト利用入試〔後期日程〕	2024 年 2 月 16 日（金）
その他の各種入学試験	出願開始日の 10 日前まで

３．「受験上の配慮決定通知書」の送付…申請書到着から 2～3 週間後を目途に、龍谷大学入試部から発送します。

４．「出願に必要な書類」の提出…出願期間内に、本学所定の「受験上の配慮専用封筒」（「受験上の配慮決定通知書」発送時に同封）にて龍谷大学願書受付センターまでお送りください。

５．「受験票」…龍谷大学に出願するには受験ポータルサイトUCAROへの登録が必要となります。受験票を印刷のうえ、試験日当日に持参ください。UCARO・受験票の印刷方法については本学Webサイトの入試情報にある「UCAROマニュアル」をご参照ください。
〈URL〉https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/

１．龍谷大学入学試験における受験上の配慮

＜受験上の配慮の申請にあたって＞

龍谷大学入学試験において、病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮を希望する志願者に対しては、申請に基づき、審査の上で許可された〔表１〕～〔表６〕に掲げる受験上の配慮を行っています。この受験上の配慮を希望する場合は、配慮の内容及び申請方法（申請書の記入方法や提出書類等）を確認の上で申請してください。

なお、**試験会場は、原則として、本学（京都）会場に限ります**（本学（京都）会場の試験地設定がない場合は本学（瀬田）会場となります）。

※面接・口述試験等の科目については、本要項に依らず別途相談することとします。また、**修学上（入学後の大学生活等）の配慮については、出願する前に希望学部と十分な事前相談をお願いします。**

〔表１〕視覚に関する配慮事項

<table>
<tr><th rowspan="2">受験上の配慮の対象となる者</th><th colspan="5">受験上の配慮をする事項（審査の上許可される事項）</th></tr>
<tr><th>解答方法</th><th>試験時間</th><th>試 験 室</th><th>試験室で用意されるもの</th><th>左記以外で配慮する事項（例）</th></tr>
<tr><td>点字による教育を受けている者</td><td>点字解答
（**注2**）</td><td>1.5 倍に延長</td><td>別 室
（**注4**）</td><td>・点字問題冊子
・点字用解答用紙</td><td>・試験室入口までの付添者の同伴
・試験場への乗用車での入構</td></tr>
<tr><td>①良い方の眼の矯正視力が 0.15 以下の者</td><td rowspan="3">文字解答
（**注3**）</td><td rowspan="2">1.3 倍に延長</td><td rowspan="3">別 室
（**注4**）</td><td rowspan="3">・文字解答用紙</td><td rowspan="4">・試験室入口までの付添者の同伴
・試験場への乗用車での入構
・拡大文字問題冊子の配付（一般問題冊子も配付）（**注5**）
・拡大鏡等の持参使用　（**注6**）
・その他本学が必要と判断した事項</td></tr>
<tr><td>②両眼による視野について視能率による損失率が 90%以上の者</td></tr>
<tr><td>③上記以外で、解答用紙にマークすることが困難な者　（**注1**）</td><td>延長なし</td></tr>
<tr><td>上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

＜注意事項＞

1．（**注1**）に該当する者は、障がいが試験時間延長（1.3 倍）に該当する程度ではないが、一般の解答用紙にマークすることが困難であると認められる者です。

2．（**注2**）の点字解答では、試験問題冊子は、点字問題冊子です。また、解答に必要な点字器等は、志願者が持参してください。なお、点字解答を希望する者は、受験科目を様式①「受験上の配慮申請書」(15・16 ページ参照)の⑳欄で選択してください。

3．（**注3**）の文字解答とは、文字解答用紙に受験者が選択肢の数字等を記入する解答方法です。（11・12 ページ参照）

4．（**注4**）別室については、受験上の症状及び受験方法（試験時間延長の有無等）によって、別室を許可された他の受験者と同室になります（数名程度）。
なお、特に個室（試験室に受験者 1 名）を希望する場合は、様式①「受験上の配慮申請書」(15・16 ページ参照)の「⑱個室（試験室に受験者 1 名、数名同室不可）を希望」にチェックした上で、必要とする理由を様式④「状況報告・意見書（個室の設定）」（20 ・21ページ参照）に詳しく記入してください。本学が必要と判断した場合には個室とします。

5．（**注5**）の「拡大文字問題冊子」は、一般問題冊子と比べて、文字の拡大率が 1.4 倍となっています。希望する者は、受験科目を様式①「受験上の配慮申請書」(15・16 ページ参照)の⑳欄で選択してください

6．（**注6**）の拡大鏡等には、弱視者用拡大テレビを含みます。

〔表２〕聴覚に関する配慮事項

受験上の配慮の対象となる者	受験上の配慮をする事項（審査の上許可される事項）（例）
①両耳の平均聴力レベル（**注1**）が 60 デシベル以上の者	・注意事項等の文書による伝達（**注2**） ・座席を前列に指定 ・補聴器の持参使用（**注3**）（**注4**） ・大学入学共通テストの「英語リスニング」の免除（**注5**） ・その他本学が必要と判断した事項
②上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	

＜注意事項＞

1．（**注1**）の「両耳の平均聴力レベル」とは、右耳・左耳それぞれの平均聴力レベルであることを意味します。

2．（**注2**）の注意事項等の文書による伝達とは、試験室で監督者が口頭で指示することを文書にし、受験者に配付するものです。

3．（**注3**）「補聴器の持参使用（ＦＭ式を除く）」のみの場合は、受験上の配慮に係る申請は必要ありません（試験室で監督者に申し出て、指示に従ってください）。

4．（**注4**）ＦＭ式補聴器を使用する場合は、補聴器のみを使用する場合でも、受験上の配慮の申請をおこなってください。また、試験中は、ＦＭ電波受信機能のスイッチを切って使用していただきます。
※面接・口述試験等の科目において、ＦＭ式補聴器を使用する場合は、別途ご相談ください。

5．（**注5**）大学入学共通テストにおいて英語リスニング試験の免除が許可されていて、本学の「共通テスト利用入試」または「一般選抜入試（共通テスト併用方式）」において本学が指定する「解答すべき教科・科目」の「外国語」が「英語（「英語リスニング」を含む）」の場合、配慮申請が必要です。

〔表３〕肢体不自由に関する配慮事項

<table>
<tr><th rowspan="2">受験上の配慮の対象となる者</th><th colspan="5">受験上の配慮をする事項（審査の上許可される事項）</th></tr>
<tr><th>解答方法</th><th>試験時間</th><th>試 験 室</th><th>試験室で用意されるもの</th><th>左記以外で配慮する事項（例）</th></tr>
<tr><td>①体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者</td><td rowspan="3">チェック解答
（注2）</td><td rowspan="2">1.3 倍に延長
（注3）</td><td rowspan="3">別　室
（注4）</td><td rowspan="3">・チェック解答用紙</td><td rowspan="4">・特製机の持参使用
・車椅子の持参使用
・杖の持参使用
・試験室入口までの付添者の同伴
・試験場への乗用車での入構</td></tr>
<tr><td>②両上肢の機能障がいが著しい者</td></tr>
<tr><td>③上記以外で解答用紙にマークすることが困難な者
（注1）</td><td>延長なし</td></tr>
<tr><td>上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

＜注意事項＞

１．（**注1**）に該当する者は、障がいが試験時間延長（1.3 倍）に該当する程度ではないが、一般の解答用紙にマークすることが困難であると認められる者です。

２．（**注2**）のチェック解答とは、チェック解答用紙に受験者が選択肢の数字等をチェックする解答方法です。（13･14 ページ参照）

３．（**注3**）試験時間 1.3 倍延長を希望する場合は、様式①「受験上の配慮申請書」(15・16 ページ参照)の⑮の「チェック解答 試験時間 1.3 倍延長」を選択した上で、様式②「状況報告・意見書（肢体不自由 関係）」（17 ページ参照）に詳しく記入してください。本学が必要と判断した場合には試験時間 1.3 倍延長とします。

４．（**注4**）別室については、受験上の症状及び受験方法（試験時間延長の有無等）によって、別室を許可された他の受験者と同室（数名程度）になります。
なお、特に個室（試験室に受験者 1 名）を希望する場合は、様式①「受験上の配慮申請書」の「⑱個室（試験室に受験者 1 名、数名同室不可）を希望」にチェックした上で、必要とする理由を様式④「状況報告・意見書（個室の設定）」（20・21ページ参照）に詳しく記入してください。本学が必要と判断した場合には個室とします。

〔表４〕病弱に関する配慮事項

受験上の配慮の対象となる者	受験上の配慮をする事項（審査の上許可される事項）（例）
慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	・杖の持参使用 ・試験室入口までの付添者の同伴 ・試験場への乗用車での入構 ・別室の設定（**注１**） ・その他本学が必要と判断した事項

＜注意事項＞

１．（**注1**）別室については、受験上の症状及び受験方法（試験時間延長の有無等）によって、別室を許可された他の受験者と同室（数名程度）になります。
なお、特に個室（試験室に受験者１名）を希望する場合は、様式①「受験上の配慮申請書」(15・16 ページ参照)の「⑱個室（試験室に受験者１名、数名同室不可）を希望」にチェックした上で、必要とする理由を様式④「状況報告・意見書（個室の設定）」（20・21 ページ参照）に詳しく記入してください。本学が必要と判断した場合には個室とします。

〔表５〕発達障がいに関する配慮事項

受験上の配慮の対象となる者	受験上の配慮をする事項（審査の上許可される事項）（例）
自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とする者（**注１**）	・試験時間の延長（1.3 倍） ・チェック解答（**注2**） ・拡大文字問題冊子の配付（**注3**） ・注意事項等の文書による伝達（**注4**） ・別室の設定（**注5**） ・試験室入口までの付添者の同伴 ・その他本学が必要と判断した事項

＜注意事項＞

１．（**注1**）発達障がい関係の診断を受けている場合は、様式③「状況報告・意見書（発達障がい関係）」（18 ページ参照）を必ず提出してください。

２．（**注2**）のチェック解答とは、チェック解答用紙に受験者が選択肢の数字等をチェックする解答方法です。（13･14 ページ参照）

３．（**注3**）の「拡大文字問題冊子」は、一般問題冊子と比べて、文字の拡大率が 1.4 倍となっています。

４．（**注4**）の注意事項等の文書による伝達とは、試験室で監督者が口頭で指示することを文書にし、受験者に配付するものです。

５．（**注5**）別室については、受験上の症状及び受験方法（試験時間延長の有無等）によって、別室を許可された他の受験者と同室（数名程度）になります。
なお、特に個室（試験室に受験者１名）を希望する場合は、様式①「受験上の配慮申請書」(15・16 ページ参照)の「⑱個室（試験室に受験者１名、数名同室不可）を希望」にチェックした上で、必要とする理由を様式④「状況報告・意見書（個室の設定）」（20 ・21ページ参照）に詳しく記入してください。本学が必要と判断した場合には個室とします。

〔表６〕その他の配慮事項（〔表１〕～〔表５〕の区分以外の者　）

受験上の配慮の対象となる者	受験上の配慮をする事項（審査の上許可される事項） （例）
〔表１〕～〔表５〕の区分以外の者で配慮を必要とする者	・トイレに近い試験室で受験 ・座席を試験室の出入口に近いところに指定 ・別室の設定（**注 1**） ・その他本学が必要と判断した事項

＜注意事項＞

１．（**注1**）別室については、受験上の症状及び受験方法（試験時間延長の有無等）によって、別室を許可された他の受験者と同室（数名程度）になります。
なお、特に個室（試験室に受験者１名）を希望する場合は、様式①「受験上の配慮申請書」(15・16 ページ参照)の「⑱個室（試験室に受験者１名、数名同室不可）を希望」にチェックした上で、必要とする理由を様式④「状況報告・意見書（個室の設定）」（20・21 ページ参照）に詳しく記入してください。本学が必要と判断した場合には個室とします。

＜試験時間延長における試験時間割＞

受験上の配慮（試験時間延長）における試験時間割は、次表のとおりです。

2 教科型公募推薦入試

入試形態	入試型	試験科目	1.3 倍の試験時間	1.5 倍の試験時間	通常の試験時間
2 教科型公募推薦入試	文系型	説明	10:20～10:40	10:20～10:40	10:20～10:40
		英語	10:40～12:11	10:40～12:25	10:40～11:50
		国語	13:10～14:28	13:10～14:40	13:10～14:10
	理系型	説明	10:20～10:40	10:20～10:40	10:20～10:40
		英語	10:40～12:11	10:40～12:25	10:40～11:50
		数学・理科	13:10～14:28	13:10～14:40	13:10～14:10

一般選抜前期日程・中期日程

入試形態	入試型	試験科目	1.3 倍の試験時間	1.5 倍の試験時間	通常の試験時間
一般選抜前期日程・中期日程	文系型	説明	9:50～10:10	9:50～10:10	9:50～10:10
		英語	10:10～11:41	10:10～11:55	10:10～11:20
		国語	12:50～14:08	12:50～14:20	12:50～13:50
		選択科目	14:40～15:58	14:40～16:10	14:40～15:40
	理系型	説明	9:50～10:10	9:50～10:10	9:50～10:10
		英語	10:10～11:41	10:10～11:55	10:10～11:20
		数学・国語	12:50～14:08	12:50～14:20	12:50～13:50
		理科	14:40～15:58	14:40～16:10	14:40～15:40

一般選抜後期日程

入試形態	入試型	試験科目	1.3 倍の試験時間	1.5 倍の試験時間	通常の試験時間
一般選抜後期日程	文系型	説明	9:50～10:10	9:50～10:10	9:50～10:10
		英語	10:10～11:41	10:10～11:55	10:10～11:20
		国語	12:50～14:08	12:50～14:20	12:50～13:50
	理系型	説明	9:50～10:10	9:50～10:10	9:50～10:10
		英語	10:10～11:41	10:10～11:55	10:10～11:20
		数学・理科	12:50～14:08	12:50～14:20	12:50～13:50

２．申請に必要な書類

申請に必要な提出書類は、次のとおりです。

なお、大学入学共通テストを利用する入試に出願する場合は、所定様式①「龍谷大学入学試験　受験上の配慮申請書」とあわせて「大学入学者選抜大学入学共通テスト受験上の配慮事項審査結果通知書」の写しを提出してください。複数の入学試験において受験上の配慮を希望する場合、「医師の診断書」・「状況報告・意見書」の提出は１部でかまいません。

<table>
<tr><th>配慮事項</th><th>受験上の配慮申請書</th><th>医師の診断書 ※1</th><th>状況報告・意見書</th></tr>
<tr><td>視覚に関する配慮</td><td rowspan="10">所定様式①</td><td>様式任意（コピー可）</td><td rowspan="2">※2</td></tr>
<tr><td>・点字解答について</td><td>様式任意（コピー可）もしくは「学校長による点字学習の証明（様式任意）」いずれか一つ</td></tr>
<tr><td>聴覚に関する配慮</td><td>様式任意（コピー可）
＊オージオグラム等を添付</td><td>※2</td></tr>
<tr><td>〈共通テストを利用する入試のみ〉
・大学入学共通テスト「英語リスニング」の免除について</td><td>不要</td><td>不要</td></tr>
<tr><td>肢体不自由に関する配慮</td><td rowspan="2">様式任意（コピー可）</td><td>※2</td></tr>
<tr><td>・試験時間の延長（1.3 倍）</td><td>所定様式②
※2</td></tr>
<tr><td>病弱に関する配慮</td><td>様式任意（コピー可）</td><td>※2</td></tr>
<tr><td>発達障がいに関する配慮</td><td>様式任意（コピー可）</td><td>所定様式③
※2</td></tr>
<tr><td>その他の配慮</td><td>様式任意（コピー可）</td><td>※2</td></tr>
</table>

※1「医師の診断書」は、希望する配慮事項に応じた病気・負傷及び障がい等の程度が記載されているものを提出してください。

※2「個室の設定」を希望する場合は、所定様式④「状況報告・意見書（個室の設定）」を必ず提出してください。

＜所定様式＞本学 Web サイトから PDF をダウンロード、または本要項の以下のページを印刷してください。

【龍谷大学入試情報サイト「受験上の配慮について」】

〈URL〉 https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/hairyo/

① 「受験上の配慮申請書」----------15・16 ページ

② 「状況報告・意見書」（肢体不自由関係）----------17 ページ

③ 「状況報告・意見書」（発達障がい関係）----------18・19 ページ

④ 「状況報告・意見書」（個室の設定）----------20・21 ページ

３．「受験上の配慮申請書」記入上の注意

（１）「受験上の配慮申請書」の用紙は、本学所定のものを使用してください。

（２）この申請書は、高等学校等卒業見込者については、在学する学校の長が志願者と相談の上、記入してください。

　高等学校等卒業見込者以外の者（高等学校等を卒業した者、高等学校卒業程度認定試験・大学入学資格検定合格者等）については、保護者等が志願者と相談の上、記入してください。

（３）「（６）各欄の記入方法」を参照し、黒又は青のボールペンで丁寧に記入してください。

（４）**太枠の中のみ記入**してください。

（５）誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消した上に訂正印を押し、訂正してください。

（６）各欄の記入方法

区　分	記　入　方　法　等
①「試験形態」欄	希望する試験形態を記入してください。
②「試験日」欄	受験希望する試験日を記入してください。
③「志望学部」欄	志望する学部・学科（課程）・専攻を記入してください。
④「氏名・生年月日・性別」欄	カタカナ及び漢字等で記入してください。生年月日は西暦で記入してください。
⑤「出身高等学校名・予備校名」欄	都道府県（私）立□□高等学校と正確に記入してください。 予備校名も略さず正確に記入してください。
⑥～⑫ 「障がい等の種類と程度」欄	該当する事項の「該当する」を〇で囲むとともに、⑫に症状及び学校等の授業での状況等を記入してください。
⑬～⑰ 「受験に際して希望する配慮事項」欄	障がい等の種類・程度に応じて、該当する事項の「希望する」を〇で囲んでください。 ⑬～⑯に該当する希望事項がない場合には、⑰「その他の希望配慮事項等」欄に、どのような配慮を希望するかを記入してください。弱視用拡大テレビの持参使用を希望する者は、⑰にもその旨を記入してください。

⑱「個室の設定を希望する者が記入（該当する方に✓してください。）」欄	個室（試験室に受験者１名）を希望する場合は✓してください。
⑲「試験会場への乗用車での入構を希望する者が記入」欄	ナンバーや車種等を記入してください。
⑳「拡大文字問題冊子の配付」、「点字による解答」を希望する者 の受験科目欄	「拡大文字問題冊子の配付」、「点字による解答」を希望する者は、受験する科目を〇で囲んでください。（受験する教科・科目の選択方法については入試要項を参照）出願受付締切後は、受験科目の変更はできません。
㉑「志願者の現住所・連絡電話番号」欄	受験上の配慮に関する通知の送付及び緊急連絡のために必要となるので、高等学校等卒業見込者・卒業者等にかかわらず、必ず記入してくだい。 団地、アパート等に居住している者は、棟番号、戸番まで正確に記入してください。 （注）現住所・連絡電話番号に変更があった場合は入試部までご連絡ください。
㉒「記入者名」欄	1. 学校長が記入する場合は、学校長名を記入し、職印を押印してください。 2. 保護者等が記入する場合は、当該記入者が署名、押印してください。

４． 受験上の配慮の決定通知

受験上の配慮事項の審査結果は、各試験の出願期間開始日前後に「受験上の配慮決定通知書」により通知します。

「受験上の配慮決定通知書」が手元に届きましたら、記載事項を確認し、不明点等があれば龍谷大学入試部まで連絡してください。

なお、この「受験上の配慮決定通知書」は、受験票と同じく試験当日、試験場に持参していただくものですので、大切に保管しておいてください。

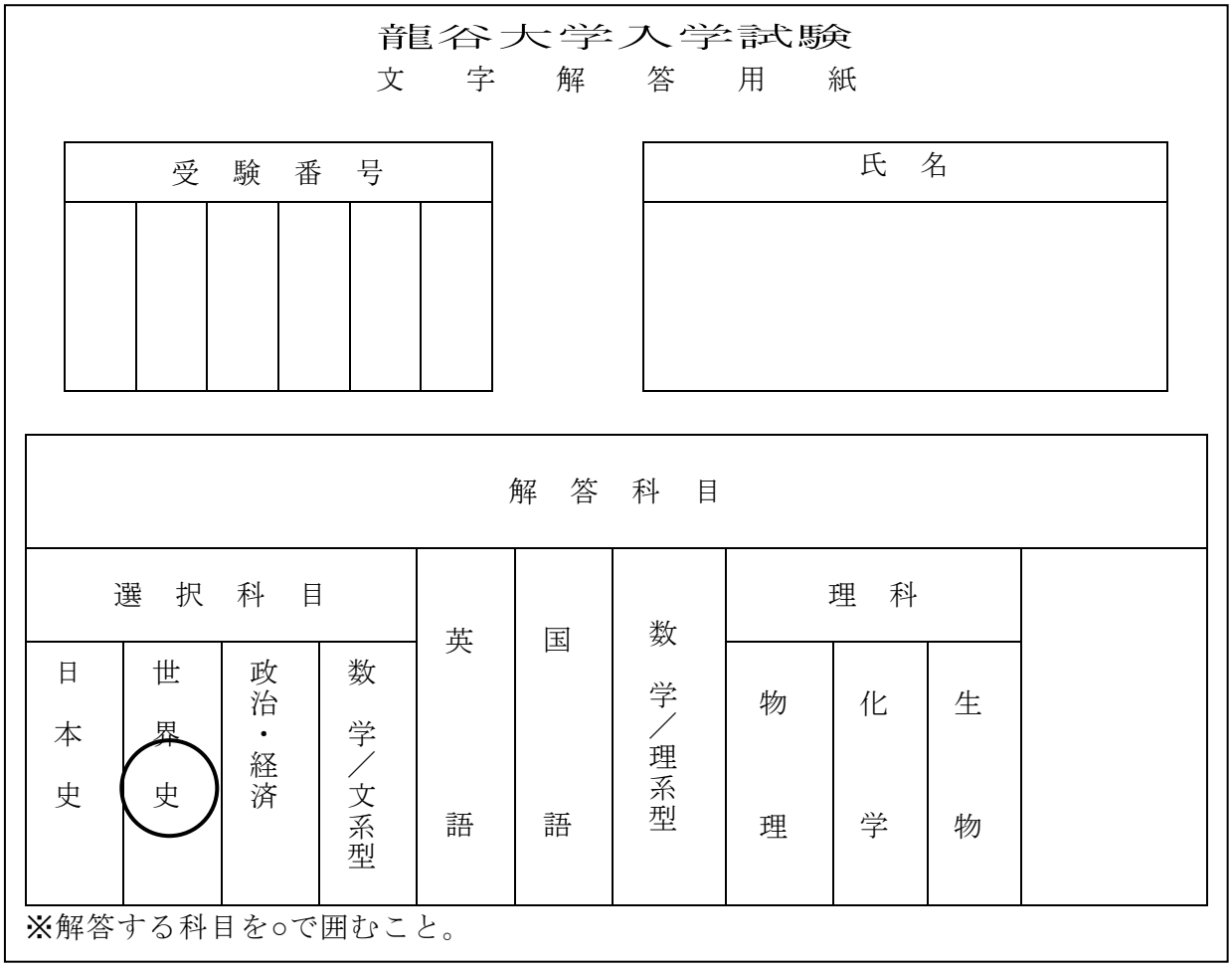
〔参　考〕

１．文字解答受験者の解答用紙への記入上の注意

文字解答受験者の解答用紙への受験番号等の記入方法については、次の記入上の注意をよく読んで十分理解しておくこと。

①文字解答用紙

受験番号、氏名、解答科目欄は、次により記入すること。



龍谷大学入学試験

文　字　解　答　用　紙

受験番号					

氏名

解答科目										
選択科目				英語	国語	数学／理系型	理科			
日本史	世界史	政治・経済	数学／文系型				物理	化学	生物	

※解答する科目を○で囲むこと。

ア　受験番号欄

監督者の指示に従って、数字で正しく記入すること。

イ　氏名欄

漢字、ひらがな、カタカナのいずれでもよい。

ウ　解答科目欄

解答する科目を上の例示のように〇で囲むこと（各教科とも同様に行うこと）。

エ　解答欄

解答記入欄は、次の例示のように記入すること。

（文字解答用紙）

解答番号	解答記入欄	解答番号	解答記入欄	解答番号	解答記入欄	解答番号
1	3	6		１１		１６
2		7		１２		１７

以下省略

・文字解答の例

「文字解答」とは、例えば、解答番号 1 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、上図のように、解答記入欄に３と記入する解答方法である。

２．チェック解答受験者の解答用紙への記入上の注意

チェック解答受験者の解答用紙への受験番号等の記入方法、チェック方法については、次の記入上の注意をよく読んで十分理解しておくこと。

①チェック解答用紙

受験番号、氏名、解答科目欄は、次により記入、チェックすること。

龍谷大学入学試験

チ　ェ　ッ　ク　解　答　用　紙

受　験　番　号					

氏　名

解　答　科　目										
選　択　科　目				英語	国語	数学／理系型	理　科			
日本史	世界史✓	政治・経済	数学／文系型				物理	化学	生物	

※解答する科目をチェックすること。

ア　受験番号欄

監督者の指示に従って、数字で正しく記入すること。

イ　氏名欄

漢字、ひらがな、カタカナのいずれでもよい。

ウ　解答科目欄

解答する科目を上の例示のようにチェックすること（各教科とも同様に行うこと）。

エ　解答欄

解答記入欄は、次の例示のようにチェックすること。

（チェック解答用紙）

解　答 番　号	解　　答　　欄									
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⓪
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
2	1	2	3✓	4	5	6	7	8	9	0
			↑							

以下省略

・チェック解答の例

「チェック解答」とは、例えば、解答番号 2 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、上図のように、

解答欄の 3 に✓を表示する解答方法である。

（参考）

（1）　解答の表示は、✓を表示し難い場合には、例えば〇（まる）・×（ばつ）・／（シャセン）などのように、受験者の解答箇所が判読できる表示であればいずれでもよい。

（2）　解答箇所を訂正する場合は、消しゴムで消すこと。消すことが困難な場合は、監督者に申し出て消してもらっても差し支えない。

※チェック解答を希望した場合でも、記述式の科目は記述式解答用紙に解答を記載いただきます。

様式①

龍 谷 大 学 入 学 試 験

受 験 上 の 配 慮 申 請 書

◆高等学校等卒業見込者については、在学する学校の長が志願者と相談の上、記入してください。
◆高等学校等卒業見込者以外の者（高等学校等を卒業した者、高等学校卒業程度認定試験・大学入学資格検定合格者等）については、保護者等が志願者と相談の上、記入してください。

①試験形態	受験する入試形態を〇で囲んでください。 公募推薦入試（2教科型・その他） 一般選抜入試（前期・中期・後期） 共通テスト利用入試（前期・中期・後期）
②試 験 日	年 月 日（ ）, 年 月 日（ ） 年 月 日（ ）, 年 月 日（ ） 年 月 日（ ）, 年 月 日（ ） 年 月 日（ ）, 年 月 日（ ）
③志望学部	学部 学科・課程 専攻 学部 学科・課程 専攻 学部 学科・課程 専攻

④	フリガナ		
	氏 名	姓	名
生 年 月 日	年 月 日	性 別	

⑤	出身高等学校名	都道府県 高等学校
	予備校名	

※試験会場は、原則として京都(本学)に限ります。

障がい等の種類と程度	⑥ 視覚障がい				⑦ 聴覚障がい		⑧ 肢体不自由				⑨ 病弱	⑩ 発達障がい	⑪
	点字による教育を受けている者	良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者	両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者	左記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者	左記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者	上肢の機能障がいにより筆記をすることができない者又は困難な者	下肢の機能障がいにより歩行をすることができない者又は困難な者	左記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのため配慮を必要とする者	その他
	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する

⑫この欄に、受験に際して配慮を希望する理由（症状及び学校等の授業での状況等）を簡潔に記入してください。

受験に際して希望する配慮事項	⑬ 視覚に関する配慮事項							⑭ 聴覚に関する配慮事項			⑮ 肢体不自由・病弱・その他の配慮事項				
	点字解答（別室※）試験時間1.5倍延長	文字解答（別室※）試験時間1.3倍延長	文字解答（別室※）試験時間延長なし	拡大文字問題冊子の配付	拡大鏡等の持参使用	試験室入口までの付添者の同伴	試験会場への乗用者での入構	注意事項等の文書による伝達	座席を前列に指定	補聴器（FM式を除く）の持参使用	ﾁｪｯｸ解答（別室※）試験時間1.3倍延長	ﾁｪｯｸ解答（別室※）試験時間延長なし	試験室入口までの付添者の同伴	特製机の持参使用	車椅子の持参使用
	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する

（肢体不自由・病弱・その他 ）			⑯ 発達障がいに関する配慮事項					
杖の持参使用	試験会場への乗用車での入構	別室の設定※	ﾏｰｸｼｰﾄ解答（別室※）試験時間1.3倍延長	ﾁｪｯｸ解答（別室※）試験時間1.3倍延長	ﾁｪｯｸ解答（別室※）試験時間延長なし	拡大文字問題冊子の配付	注意事項等の文書による伝達	別室の設定※
希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する

⑰その他の希望配慮事項等
（出入口に近い座席、共通テスト「英語リスニング」の免除 等）

※「別室」は数名程度です。

⑱個室の設定を希望する者が記入（希望する場合は✓）してください。

□個室（試験室に受験者1名、数名同室不可）を希望
※様式④「状況報告・意見書（個室の設定）」を必ず提出してください。

⑲試験会場への乗用車での入構を希望する者が記入してください。

ナンバー Ex). 京都０００ あ １２－３４	車種・色 Ex). トヨタ プリウス 白

⑳「拡大文字問題冊子の配付」、「点字による解答」を希望する者が記入
（出願受付締切後は、受験科目の変更はできないので注意してください。）

「拡大文字問題冊子の配付」、「点字による解答」を希望する者の受験科目

選択科目				英語	国語	数学／理系型	理科			小論文	エッセー
日本史	世界史	数学／文系型	政治・経済				物理	化学	生物		

※受験する教科・科目の選択方法については、「入学試験要項」を参照してください。

※龍谷大学入試部 記入欄

㉑ 志願者の現住所・連絡電話番号	〒 － 連絡電話番号（ ） －
㉒ 記入者名	印 ※記入者： 高校教員 ・ 保護者

様式①

龍 谷 大 学 入 学 試 験

受 験 上 の 配 慮 申 請 書

◆高等学校等卒業見込者については、在学する学校の長が志願者と相談の上、記入してください。
◆高等学校等卒業見込者以外の者（高等学校等を卒業した者、高等学校卒業程度認定試験・大学入学資格検定合格者等）については、保護者等が志願者と相談の上、記入してください。

①試験形態	受験する入試形態を記入してください。 【　　】入学試験
②試 験 日	年　　月　　日（　　）
③志望学部	学部・研究科　　学科・課程　　専攻

④	フリガナ		
	氏　名	姓	名
生 年 月 日	年　月　日	性　別	

⑤	出身高等学校名	都道府県　　高等学校
	予備校名	

※試験会場は、原則として京都(本学)に限ります。

障がい等の種類と程度	⑥ 視覚障がい				⑦ 聴覚障がい		⑧ 肢体不自由				⑨ 病弱	⑩ 発達障がい	⑪
	点字による教育を受けている者	良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者	両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者	左記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者	左記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者	上肢の機能障がいにより筆記をすることができない者又は困難な者	下肢の機能障がいにより歩行をすることができない者又は困難な者	左記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのため配慮を必要とする者	その他
	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する	該当する
	⑫この欄に、受験に際して配慮を希望する理由（症状及び学校等の授業での状況等）を簡潔に記入してください。												

受験に際して希望する配慮事項	⑬ 視覚に関する配慮事項							⑭ 聴覚に関する配慮事項			⑮ 肢体不自由・病弱・その他の配慮事項				
	点字解答（別室※）試験時間1.5倍延長	文字解答（別室※）試験時間1.3倍延長	文字解答（別室※）試験時間延長なし	拡大文字問題冊子の配付	拡大鏡等の持参使用	試験室入口までの付添者の同伴	試験会場への乗用者での入構	注意事項等の文書による伝達	座席を前列に指定	補聴器（FM式を除く）の持参使用	ﾁｪｯｸ解答（別室※）試験時間1.3倍延長	ﾁｪｯｸ解答（別室※）試験時間延長なし	試験室入口までの付添者の同伴	特製机の持参使用	車椅子の持参使用
	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する
	（肢体不自由・病弱・その他 ）			⑯ 発達障がいに関する配慮事項						⑰その他の希望配慮事項等 （記載事項以外で配慮事項があれば簡潔に記入してください）					
	杖の持参使用	試験会場への乗用車での入構	別室の設定※	ﾏｰｸｼｰﾄ解答（別室※）試験時間1.3倍延長	ﾁｪｯｸ解答（別室※）試験時間1.3倍延長	ﾁｪｯｸ解答（別室※）試験時間延長なし	拡大文字問題冊子の配付	注意事項等の文書による伝達	別室の設定※						
	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する	希望する						

※別室は数名程度です。

⑱個室の設定を希望する者が記入（希望する場合は✓）してください。

□個室（試験室に受験者1名、数名同室不可）を希望
※様式④「状況報告・意見書（個室の設定）」を必ず提出してください。

⑳「拡大文字問題冊子の配付」、「点字による解答」を希望する者が記入
（出願受付締切後は、受験科目の変更はできないので注意してください。）

「拡大文字問題冊子の配付」、「点字による解答」を希望する者の受験科目
受験科目を記入してください。 ※受験する教科・科目の選択方法については、「入試要項」を参照してください。

⑲試験会場への乗用車での入構を希望する者が記入してください。

ナンバー　Ex). 京都０００　あ　１２－３４	車種・色　Ex). トヨタ　プリウス　白

※龍谷大学入試部　記入欄
学部担当者確認欄　　月　　日　氏名：

㉑ 志願者の現住所・連絡電話番号	〒　－ 連絡電話番号（　　）　－

㉒ 記入者名	印 ※記入者：　高校教員　・　保護者

様式②

状況報告・意見書（肢体不自由関係）

【試験時間の延長（1.3 倍）を希望する者のみ提出のこと】

氏名	年　　月　　日生	性別
住所		
試験時間の延長（1.3 倍）を必要とする理由		

該当する項目の数字を○で囲み、必要事項を記入してください

1　高等学校等で用いる机や椅子等について
1）通常の机と椅子を用いている。
2）特製の机と椅子を用いている。
3）その他　※例：ベッド等（　　）

2　書字に要する時間は、
1）一般の生徒と変わらない。
2）一般の生徒より長くかかる。
3）その他（　　）

3　読みに要する時間は、
1）一般の生徒と変わらない。
2）一般の生徒より長くかかる。
3）その他（　　）

4　定期試験等において、解答に要する時間は、
1）一般の生徒と同一時間である。
2）一般の生徒より長くかかる。
3）その他（　　）

上記のとおり状況等を報告する。

年　　月　　日

高等学校等の名称・所在地

校長名　　印

記載責任者（志願者との関係・氏名）　　印

お願い：高等学校卒業程度認定試験・大学入学資格検定合格者等にあっては、保護者等が可能な範囲で記入してください。

龍谷大学 入試部

様式③

状況報告・意見書（発達障がい関係）

氏名	年　月　日生	性別
住所		
記入について	○以下の配慮事項のうち希望するものを○で囲み、それぞれについて、必要とする理由を詳しく記入してください。申請書で希望した配慮事項については、必ず理由を記入してください。 ○高等学校等に在籍していない者は、保護者等が志願者の所属する高等学校等以外の教育機関等における状況等及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。	
配慮事項（希望するものを○で囲んでください）	必要とする理由（記入しきれない場合は、裏面に記入してください） ※「拡大文字問題冊子の配布」が必要な場合、高等学校等で使用している教科書や定期試験などでの状況についても併せて記入してください。	
試験時間の延長（1.3 倍）		
チェック解答		
拡大文字問題冊子の配付		
注意事項等の文書による伝達		
別室の設定		
その他		

【高等学校等で行った配慮について、「有」又は「無」を○で囲んでください】

1　「読み」「書き」等における配慮
（1）有　※「有」を選択した場合は、その具体的な内容を、裏面に必ず記入してください。
（2）無
2　定期試験等の実施・評価等における配慮
（1）有　※「有」を選択した場合は、その具体的な内容を、裏面に必ず記入してください。
（2）無
3　個別の指導計画の作成
（1）有　※「有」を選択した場合は、必ず申請書･診断書･本書とともに提出してください。
（2）無
4　個別の教育支援計画の作成
（1）有　※「有」を選択した場合は、必ず申請書･診断書･本書とともに提出してください。
（2）無
5　その他の支援・配慮
（1）有　※「有」を選択した場合は、その具体的な内容を、裏面に必ず記入してください。
（2）無　　また、各種アセスメント結果等についても裏面に記入してください。

上記のとおり状況等を報告する。

年　月　日

高等学校等の名称・所在地

校長名　　印

記載責任者（志願者との関係・氏名）　　印

龍谷大学 入試部

氏名	
配慮事項	必要とする理由(表面に記入しきれない場合に記入してください)
試験時間の延長（1.3 倍）	
チェック解答	
拡大文字問題冊子の配付	
注意事項等の文書による伝達	
別室の設定	
その他	

【高等学校等で行った配慮の具体的内容（表面で「有」を選択したものについて、必ず記入してください】

1　「読み」「書き」等における配慮

2　定期試験等の評価等における配慮

5　その他の支援・配慮及び各種アセスメント結果等

龍谷大学 入試部

様式④

状況報告・意見書（個室の設定）

【個室を希望する者のみ提出のこと】

氏名	年　　月　　日生	男・女
住所		
記入について	○個室（試験室に受験生１名）での受験を必要とする理由を詳しく記入してください。 ○高等学校等に在籍していない場合は、保護者等が志願者の所属する高等学校以外の教育機関等における状況及び専門学校等による所見を可能な範囲で記入してください。	

該当する項目の数字を○で囲み、必要事項を記入してください。
記入しきれない場合は、次頁のその他記入欄に記入してください。

１　個室（試験室に受験者１名）を必要とする理由を記入してください。

２　授業における配慮
（１）有　　（２）無
※「（１）有」を選択した場合は、以下に具体的な配慮事項を記入してください。

３　定期試験等における配慮
（１）有　　（２）無
※「（１）有」を選択した場合は、以下に具体的な配慮事項を記入してください。

上記のとおり状況等を報告する。

年　　月　　日

高等学校等の名称・所在地

校長名　　職印

記載責任者（志願者との関係・氏名）　　印

（その他記入欄）

龍谷大学 入試部